

こくどう330ごうえんせんとちりようとうすいしんじぎょう
国道330号沿線土地利用等推進事業
…約6,680万円

沖縄市の胡屋十字路からコザ十字路までの大通りは、「国道330号」という名称で国が管理する道路です。通常、車道や歩道等の幅は利用者の数によって決定されますが、この地域は交通量が増加しており、現在の車道幅ではスムーズに車が通ることが出来ず、渋滞・混雑が深刻化しています。

また、この地域は沖縄市の発展に欠かせない中心市街地の商業地域でもあります。

この事業では、渋滞・混雑の解消や歩行者が安心して利用できることを目的として、車道や歩道の幅を大きくするよう国にお願いをすると同時に、沖縄市の発展のために道路沿いのまちづくりを進めていきます。

現在、コザ十字路では道路幅を大きくする改良工事が行われており、一部の建物が撤去され道路として利用されますが、建物が撤去された道路以外の残った土地を、この事業でイベント広場や緑地空間をすることにより、コザ十字路地区の魅力向上や賑わいを生み出します。



あげだしえいじゅうたくたてかえじぎょう

安慶田市営住宅建替事業

…約4億2000万円

沖縄市の安慶田市営住宅は、建築して40年以上が経過しており、建物の老朽化が進んでいます。そのため、現在の安慶田市営住宅から新しい安慶田市営住宅へと建て替えを実施していきます。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約198戸
- (2) 事業期間：平成23年度～29年度



やまざとだいいいちちくしがいちさいかいはつそくしんじぎょう

山里第一地区市街地再開発促進事業 ・・・約7,200万円

当地区は、国道330号と県道24号線が交差する山里三叉路の一角に位置しています。地区内は、老朽化した住宅が密集し、道幅も狭く、生活環境及び、火災等の防災面にも課題があります。このため、高層建築物に建て替えを行い、住宅や商業施設、広場等を整備し、安全で快適なまちに寄与する事業です。



こうきょうげすいどうじぎょう

公共下水道事業・・・約2億8,400万円

公共下水道事業は家庭、工場、事務所などで排出される生活雑排水やトイレで使用された汚水をきれいな水に処理する最終処理場へ運ぶ役割を担っています。最終処理場で処理された水は海や河川の公共水域へ放流されるため、自然環境にやさしく、清潔で快適な生活環境を確保できます。沖縄市の公共下水道は95%の普及率となっております。

ちゅうしゃじょうゆうどうせいびじぎょう

駐車場誘導整備事業・・・約850万円

沖縄市の胡屋十字路を中心とする市の中心部では、民間の駐車場が実際には多く存在していますが、利用者からは、「駐車場の場所が分かりづらい」「駐車場が少ない」といった声が寄せられています。こうした問題を改善するために、駐車場の位置情報を分かりやすく表示した駐車場案内看板や矢印案内看板を設置する事業を行っています。

これにより、中心部にある商店街等への買い物や食事がしやすくなるなど、自動車を利用する方の利便性を向上させています。



駐車場案内 Parking Information

